



ファームウェアバージョン: R2.30.B020		
ハードウェアバージョン:	DGS-3630-28SC	A1/A2/A3
	DGS-3630-28TC	A1/A2/A3
	DGS-3630-52TC	A1/A2/A3
	DGS-3630-28PC	A2/A3
	DGS-3630-52PC	A2/A3
発行日: 2026/6/5		

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次：

変更履歴とシステム要件：	2
アップグレード手順：	3
CLI（シリアルポート）を使用したアップグレード	3
Web GUI を使用したアップグレード	5
追加機能：	8
MIB の変更点：	8
コマンドラインインタフェースの変更点：	8
修正した問題点：	8
既知の問題：	9

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム：R2.30.B020	2026/6/5	DGS-3630-28SC	A1/A2/A3
		DGS-3630-28TC	A1/A2/A3
		DGS-3630-52TC	A1/A2/A3
		DGS-3630-28PC	A2/A3
		DGS-3630-52PC	A2/A3

アップグレード時の注意事項：ダウングレードに関する制限事項

- A1を含む全てのハードウェアバージョンの製品について、R2.00.xxx以上のファームウェアを使用しているもしくは一度R2.00.xxx以上のファームウェアにアップグレードしたデバイスを、R1.00.060を含むすべてのR1.00.xxxバージョンへダウングレードしてお使いになることはできません。

また、Bootloaderバージョンが2.00.002以上のものをお使いの場合にも、すべてのR1.00.xxxにダウングレードすることはできませんので十分にご注意ください。（お使いのファームウェアバージョン、Bootloaderバージョンは、「show version」コマンドでご確認いただけます）

必ず2.10.B022以上のファームウェアのままお使いください。ダウングレードした場合、正常に起動・動作することができなくなります。

アップグレード時の制限事項

- R2.10.022またはそれ以前のファームウェアバージョンからアップグレードする場合の制限事項
 - パスワードの暗号化を有効にし、SNMPのコミュニティ、グループ、トラップ受信ホストの追加を設定している場合、アップグレード後にそれらを再度手動で追加する必要があります。

コンフィグレーション互換性に関する制限事項

- R1.00.B060とR2.10.022以降のファームウェアバージョン間のコンフィグ互換性には制限があります。
 - R1.00.B060からR2.10.022以降のバージョンへの設定の引継ぎは可能（アップグレード及びリストア）
 - R2.10.022以降のバージョンからR1.00.B060へ設定引継ぎは不可（リストア）

※R2.10.022以降のバージョンにアップグレードしたデバイスを、R1.00.060にダウングレードすることはできません。

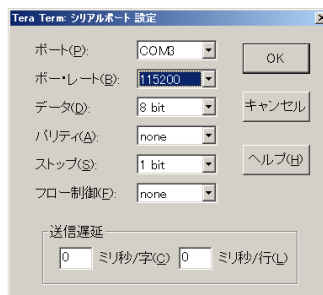
アップグレード手順：

アップグレードを行うには、CLI(シリアルポート)使用する、もしくは Web GUI から行うことができます。

CLI（シリアルポート）を使用したアップグレード

1. スイッチの RS-232 シリアルポート（コンソールポート）と PC を接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。（本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。）

- ボーレート：**115200**
- データビット：**8**
- パリティ：**none**
- ストップビット：**1**
- フロー制御：**none**



2. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められます。管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていないので「enter」キー 1 回を押し、ログインします。
3. ログイン後は下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
enable	特権レベルに移行します。
configure terminal	グローバルコンフィグモードに入ります。
exit	現在のコンフィグモードを終了し、最後に使用したモードに戻ります。
copy tftp: //LOCATION/SOURCE-URL flash: PATH-FILE-NAME	スイッチにファームウェアをダウンロードします。
boot image	次回の起動時にイメージファイルとして使用されるファイルを指定します。
show boot	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。
reboot	スイッチをリブートします。
show version	スイッチのバージョンを表示します。

以下の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例:

- (1) スイッチにファームウェアをダウンロードします。

```
Switch>enable
```

```
Switch#copy tftp: //10.90.90.100/DGS3630_Ax_FW2_30_B020.had flash:
DGS3630_Ax_FW2_30_B020.had
```

```
Address of remote host [10.90.90.100]?
```

```
Source filename [DGS3630_Ax_FW2_30_B020.had]?
Destination filename DGS3630_Ax_FW2_30_B020.had]?
Accessing tftp://10.90.90.100/DGS3630_Ax_FW2_30_B020.had...
Transmission start...
Transmission finished, file length 15316592 bytes.
Please wait, programming flash..... Done.
```

(2) ブートイメージを指定します。

```
Switch#
Switch#configure terminal
Switch(config)#boot image DGS3630_Ax_FW2_30_B020.had
Switch(config)#exit
Switch#show boot
```

```
Unit 1
Boot image: /c:/ boot image DGS3630_Ax_FW2_30_B020.had
Boot config: /c:/config.cfg
```

(3) スイッチを再起動します。

```
Switch#reboot
Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n) y
Please wait, the switch is rebooting...
```

注意：

スイッチのアップグレード中及び再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

(4) バージョンがアップグレードされていることを確認します。

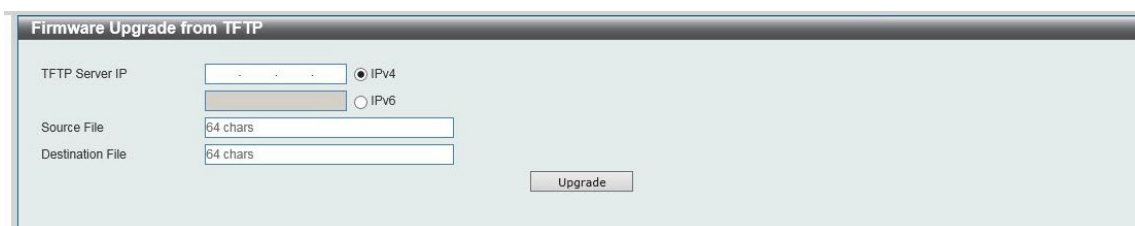
```
Switch>show version
System MAC Address: xx-xx-xx-xx-xx-xx
```

Unit ID	Module Name	Versions
1	DGS-3630-28SC	H/W:A1 Bootloader:1.00.007 Runtime: 2.30.B020

```
Switch>
```

Web GUI を使用したアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。デフォルトのシステム IP アドレスは 10.90.90.90 です。
3. PC 上で TFTP サーバを有効にします。(必ずご使用の PC に TFTP サーバのインストールを行っておいてください。)
4. お客様の PC から RJ45 ネットワークケーブル経由でスイッチにアクセスできることを確認し、Web 管理画面からログインしてください。
「User Name」(管理者のユーザ名)と「Password」(パスワード)は、初期状態では登録されていません。「空白」でログインを行ってください。
5. スイッチのファームウェア更新を行うには、**Tools > Firmware Upgrade & Backup > Firmware Upgrade from TFTP** の順にクリックし、必要な情報を入力後、「Upgrade」ボタンをクリックします。

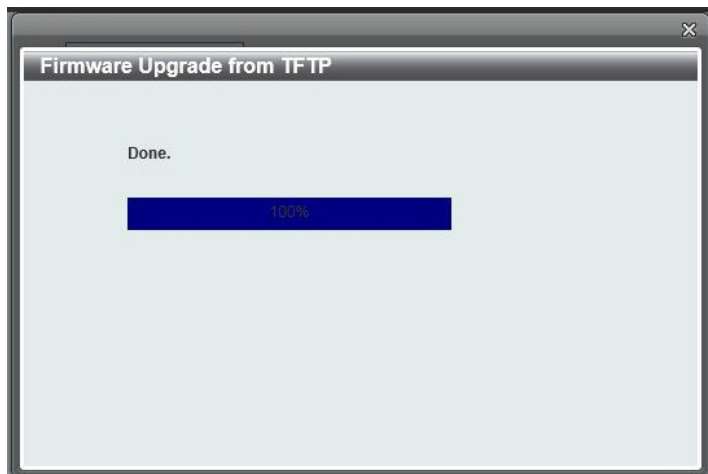


The screenshot shows a web form titled "Firmware Upgrade from TFTP". It contains the following elements:

- TFTP Server IP:** A text input field followed by radio buttons for "IPv4" (selected) and "IPv6".
- Source File:** A text input field with a "64 chars" label.
- Destination File:** A text input field with a "64 chars" label.
- Upgrade:** A button located at the bottom right of the form.

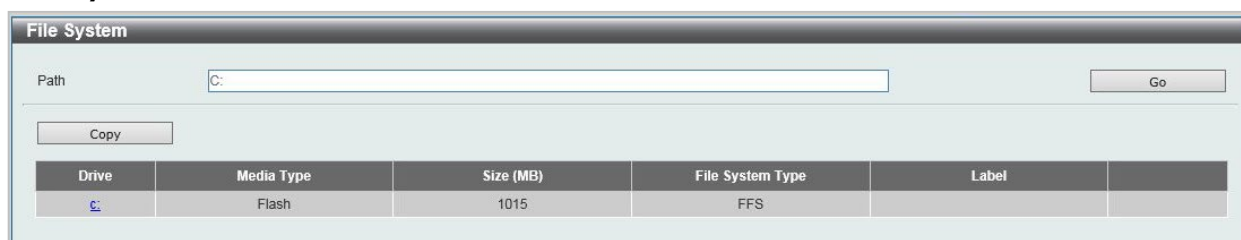
- TFTP Server IP: IPv4 もしくは IPv6 を選択し、TFTP サーバの IP アドレスを入力します。
- Source File : TFTP サーバ上に保存したダウンロード済みのファームウェアファイル名を入力します。
- Destination File : フラッシュドライブにファームウェアをロードするために、パスとファイル名を入力します。(例 : c:/DGS3630_Ax_FW2_30_B020.had)

6. ステータス画面が表示されます。「Done.」(完了)ステータスを確認後、本画面を閉じます。

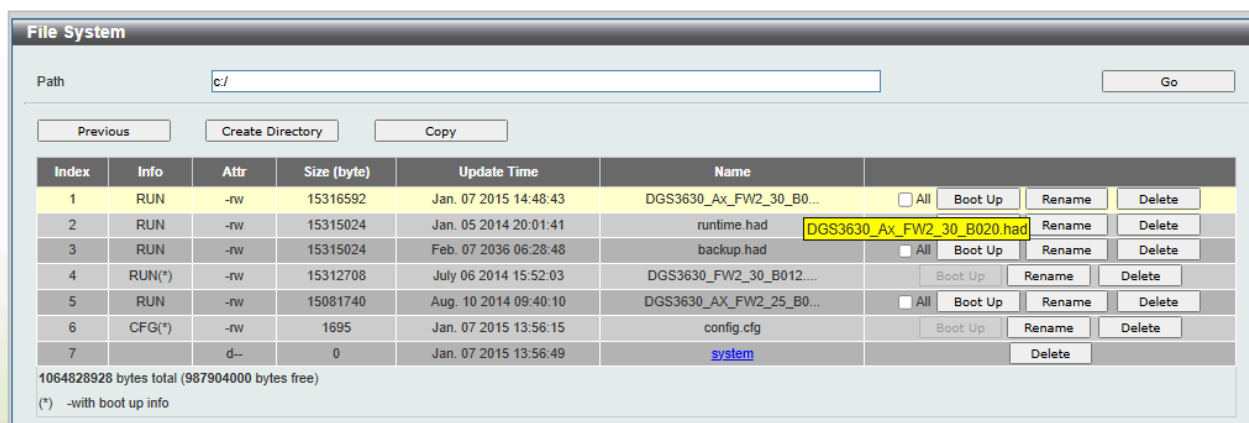


注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

7. 次回のスイッチリブート時にブートアップを行うイメージが選択するために、**Management > File System** の順にクリックします。



8. Drive 欄の C: をクリックします。
9. 該当するイメージの行にある「Boot Up」ボタンをクリックし、ブートアップファイルとして設定します。



※Info 欄の * は、現在ブートアップファイルに指定されていることを表します。

10. ブートファイルの指定に成功すると「Success」と表示されるので、画面の「OK」をクリックします。
11. スイッチのリブートを行います。リブートを行うには、**Tools > Reboot System** をクリックします。



12. 「Reboot」ボタンをクリック後、「Are you want to reboot?」と表示されるので「OK」ボタンをクリックし、スイッチを再起動してください。



注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

13. システムの再起動後にログインし、ファームウェアのバージョンがアップグレードされていることを確認します。

追加機能：

ファームウェアバージョン	変更点
R2.30.B020	1. DGS-3630-28PC/52PC の H/W バージョン：A3 をサポートいたしました。

MIB の変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
R2.30.B020	特になし

コマンドラインインタフェースの変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
R2.30.B020	特になし

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R2.30.B020	<ol style="list-style-type: none"> 1. インタフェース内の"allowed vlan"に指定される VLAN の数が 530 を超える場合に、WebUI の"Configure VLAN Interface"を経由して設定の変更が出来ない問題を修正いたしました。 2. DHCPv6 サーバ機能において、除外アドレス設定が適切に動作しない問題を修正いたしました。 3. DHCPv6 サーバ機能において、DNS サーバ情報が送信されない問題を修正いたしました。 4. CPU における DHCP パケットの不要なキャプチャや ARP 変更時の不要な通知イベントにより、CPU が高負荷となる場合がある問題を修正いたしました。 5. Loop Guard 機能が適切に動作しない問題を修正いたしました。 6. スタック構成を解除した際、コンフィグレーション内に不要な設定が挿入される場合がある問題を修正いたしました。 7. ip arp elevation を有効にした場合に ACL 処理で ARP パケットが VLAN 上で正しくフラッディングされない場合がある問題を修正いたしました。 8. LLDP 機能において、"PMD Auto-Negotiation Advertised Capability"の内容が不適切だった問題を修正いたしました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
R2.30.B020	特になし

※R2.25.B025 以前のリリースノート記載の制限事項については、マニュアルに記載を移動しています。

Copyright 2026 D-Link Japan K.K.